

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ！

職場討議資料

JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿と一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義
労働組合が果たすべき役割
私たちが求める労使関係
あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

第5回 労働組合が果たすべき役割 その1

(1) 職場を良くし企業と社会の持続的発展を築くために

労使最大の責任は雇用確保と人材育成である

今日までの日本社会の安定、発展を支えてきた最大の源泉は、良質な雇用の安定を背景にしたわが国の勤勉な労働者の努力である

良質で安定した雇用確保と、社会人としての人材育成は、企業の最大の社会的責任であり、それを実践させることが労働組合の最大の使命である

働く者の幸せ・企業の発展・社会の発展を合わせて追求しなければならない

企業の健全な発展と働く者の幸せとは合致しなければならない。ひいては社会の安定と持続的発展につながる。そして、雇用と暮らしの安定が社会の発展を築き、内需を拡大し、企業の発展につながるのである（「生産性三原則」の確認）

・労使は「協力と対立」を基本に、生産性の向上に努め、生み出された企業の利益は、適正に働く者に分配されなければならない

・日本の労使は、安定した雇用に基づいて良質な人材を育成し、その労働の質の高さを基礎に、高い生産性、付加価値を創出することで、適正な賃金や労働条件と、競争力の確保の両立を指向すべきである